

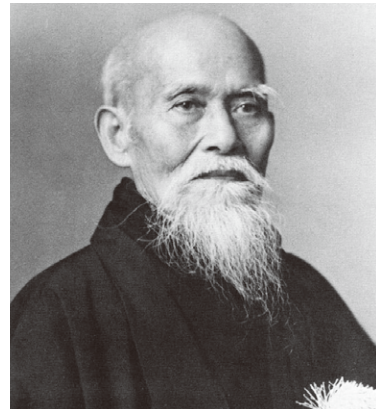
# わかやま 県議会 だより

## 9月定例会号

No.30 平成27年[2015]  
10月25日発行(年4回発行)

### 主な記事

- 2~3面 平成27年9月定例会の概要
- 4面 議会活動Topics  
県議会からのお知らせ



うえしば もりへい  
植芝 盛平

**世界へと広がる「合気道」の開祖**  
1883(明治16)年に西牟婁郡西ノ谷村(現田辺市)で生まれ、19歳で修行の旅に出て各流の武術遍歴を重ねつつ独自の武術を習得。また、北海道の開拓においては紀州団体の長として入植するなど、多方面で活躍しました。1922(大正11)年に独自の武術を「合気道」と名づけ、国内はもとより世界中にその名を広めました。

# 2015 紀の国わかやま国体 応援ありがとうございました



この大会の開催が、今後の本県のスポーツ振興と地域の発展に寄与することを強く願いますとともに、この大会を通じて、多大な御支援、御協力を賜りました関係者、関係諸団体の皆様に、心より御礼申し上げます。

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ開催されました「2015紀の国わかやま国体」が、無事終了いたしました。激戦を戦い抜き、見事、優秀な成績を残されました選手の皆様、本当におめでとうございませす。心から栄誉をたたえ、お祝い申し上げます。

この大会は、参加するすべての人が躍動し、歓喜する、そこに交流が生まれ、絆が深まることを目指し、「躍動と歓喜、そして絆」という大会スローガンのもと、県民総参加で取り組み、県議会も全面的に応援して実施してまいりました。



前芝雅嗣 議長



# 9月定例会の概要

会期 8月18日～9月3日の17日間

## 一般質問議員 14人

8月25日(火)	8月26日(水)	8月27日(木)	8月28日(金)
山本 茂博 中 拓哉 松坂 英樹 森 礼子	坂本 登 藤本眞利子 雑賀 光夫 中西 峰雄	花田 健吉 秋月 史成 奥村 規子	泉 正徳 浦口 高典 山田 正彦

## 会期中の主な動き

- 特別委員会の開催
  - 人権・少子高齢化問題等対策特別委員会(8/27)
  - 行政改革・基本計画等に関する特別委員会(8/28)
- 特別委員会の設置
  - 決算特別委員会を設置し、委員を選任(9/3)

## 議決結果・意見書等

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	1件	平成27年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件( // )	13件	和歌山県個人情報保護条例の一部を改正する条例 等	継続審査
決算案件( // )	2件	平成26年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	同意
人事案件( // )	4件	和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めるについて 等	可決
その他案件( // )	13件	平成27年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	不採択
請 願	1件	「安全保障関連法案」は国会での採決をせずに引き続き慎重な審議を求める請願	不採択
意見書	4件	「企業・団体等による部落差別撤廃のための法律」の早期制定を求める意見書 和歌山県の社会資本整備に必要な予算の確保等を求める意見書 地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書 ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書	可決

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

## 国 体

### 国体の男女総合優勝への見通し

**問** 知事は、就任直後より、紀の国わかやま国体で男女総合優勝を目指すと言及しているが、現在、どのような手応えを感じているのか。

**答** これまで、和歌山県競技力向上対策本部において、毎年度の目標設定や各競技の強化策の計画を立てて取り組んできました。その結果、多くの競技において、全国大会で入賞するなどの成果があらわれてきており、手応えを感じているところです。県民の皆様には、会場にお越しいただき、会場いっば



いの応援で本県選手団を後押ししていただきたいと思います。

## くらし・生活

### インターネット有害サイト対策

**問** 青少年の有害サイトへのアクセスを制限するフィルタリングを義務づける法律が施行され、県青少年健全育成条例でも努力義務を課しているが、もっと子供をインターネット被害から守るため、毅然とした対応をどうするか。

**答** 保護者が青少年のインターネット利用による危険性を十分に理解し、安易にフィルタリング解除に同意しないよう、新たな仕組みを検討します。また、法律は努力義務にとどまっているので、保護者に対して義務の強化、事業者に対しては罰

### 買い物弱者対策

**問** みずから移動手段を持たない交通弱者に対し、移動スーパーのような民間事業者の営業活動の力をかりて、県内全域で買い物弱者ゼロ作戦を展開してはどうか。

**答** 県では、買い物弱者対策として、過疎地域においては過疎集落支援総合対策事業メニューの1つとして支援し、要援護者にはホームヘルパーによる買い物サービス等に取り組みしています。民間事業者では、店舗まで送迎する買い物バスやネットショッピング等、様々な



取組をされていますが、移動スーパーは有効な取組と認識しています。今後とも、市町村等と協力しながら買い物弱者対策に取り組んでいきます。

## 土 木

### 下水道事業計画の課題

**問** 下水道整備には費用と時間がかかり、面整備が進んでいない。特に紀の川流域下水道では市町の財政を圧迫しているが、ともに計画を進めてきた県として特段の配慮を願いたい。

**答** 県では、面整備を促進するため、管渠の整備を行った市町に対し、その実績に応じ費用の一部を負担する県独自の和歌山県下水道事業促進交付金制度を設け、市町の財政負担軽減を図っています。今後引き続き、市町と十分連携し、下水道事業の適切な促進に努めていきます。

### 広川の河川整備計画

**問** 県が広川の河川整備計画を策定するに当たり、水路や用水とあわせ、市町村とともに面的に一体的な整備を進めべきであると思うが、どうか。

**答** 現在、平成29年度末を目標に、広川も含めた主要河川の河川整備計画を策定することとしています。広川の河川整備計画については、今後、検討が本格化することになります。まず、町の行う排水対策を検討いただくとともに、県としては、河川改修と一体となった効果的、効率的な浸水対策が実施できるよう調整を行っていきます。

# 健康・医療

## 地域医療構想の策定

**問** 政府が「入院から在宅へ」のかけ声により発表された病床削減目標をどのように受けとめ、今後、県として地域医療構想をどのように策定していくのか。

**答** 地域医療構想に関し、政府が示した病床削減の推計値がありますが、本県の場合、今後、人口減少もあり、将来の医療需要にふさわしい一定の病床削減は必要になってきます。今後、地域の実情を踏まえ、市町村や医療関係者等の意見を聞きながら地域医療構想を策定するとともに、在宅医療を含む地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいきます。

## 「健康寿命をのばそう！アワード」への参加

**問** 健康寿命の延伸に取り組む自治体・企業・団体のコンテスト「健康寿命をのばそう！アワード」に来年参加してはどうか。

**答** 生活習慣を改善し、健康寿命を延ばすことを目的として厚生労働省が平成24年度から実施している表彰制度ですが、今後、本県としては、過去に受賞した取組事例等を研究し、健康づくりの推進を図り、応募に向けて積極的な検討を行っていきます。



# 福祉

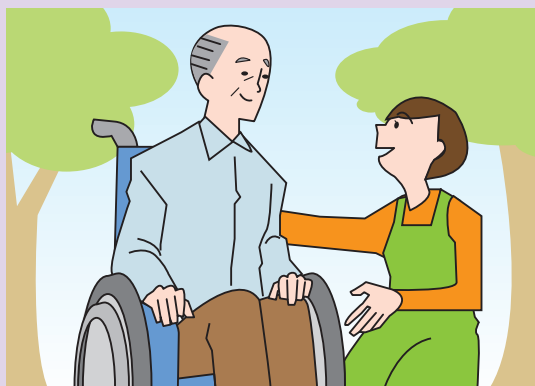
## 介護人材の確保

**問** 地域包括ケアシステムを進めるには人材の確保が不可欠であるが、特に介護人材の確保について、県の考えはどうか。

**答** 本年6月、国が2025年に向けた介護人材に係る需給推計を発表し、本県では4187人の介護人材が不足するとの推計が示されました。県では、わかやま長寿プラン2015に基づいて各種の施策を実施していますが、本年6月に和歌山県介護職員確保対策協議会を設置し、そこを中心に適宜見直しを行う

いっつ効果的な実施に努めていきます。

**地域包括ケアシステム**：重度の要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステム。



# 教育

## 不登校対策への取組

**問** 学校基本調査の結果、本県の小学校における不登校児童の比率が全国最悪となった。不登校児童生徒をなくすため、県教育委員会はどのような取組を行うのか。

**答** 未然防止、早期発見・早期対応のため、児童生徒の状況把握や、欠席傾向を示し始めた児童生徒への早期の支援、不登校状態となった児童生徒には一人一人に応じた学校復帰への支援が重要であります。そうした認識のもと、本年度はスクールカウンセラーやスクール

## 児童虐待における里親の取組

**問** 親から引き離して保護した子供について、親がわりとなる里親を見つけて家庭に近い環境を保障することが大切であるが、その取組はどうか。

**答** 平成26年度、里親委託率（里親への委託を行った児童の割合）は約14%です。実の親にかわって児童を養育する里親制度は児童の健全育成に非常に有用な制度です。将来的には委託率30%を目標に、里親登録制度の普及や啓発や里親支援制度の充実などに積極的に取り組んでいきます。



シャルワーカーの配置を拡充しており、今後も不登校問題の解消に取り組んでいきます。

## 和歌山県総合教育会議の意義

**問** 法が改正され、知事は和歌山県総合教育会議で教育について意見も出していた。立場となったが、その意義をどう考えているか。

**答** 今回から、教育委員の皆さんや県庁の教育に関係する部局が集まって議論できることになり、1回目の会議は多彩かつ真摯な意見が出て、建設的でない議論となりました。こうしたことを通じてみんながレベルを上げ、やるべきことを

やっていくことが大事ではないかと思っています。



# 農業

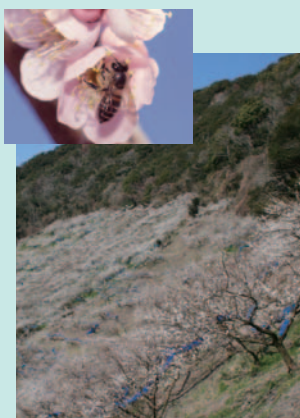
## 梅システムの世界農業遺産登録

**問** みなべ・田辺の梅システムの世界農業遺産認定・登録について、どう評価し、活用しようとしているのか。

**答** 世界農業遺産への取組は、議員の提案を契機に県も地元とともに取り組むこととなり、認定まであと一歩のところまで来ています。国内外での梅の需要拡大や観光振興にもつながるチャンスで、積極的な活用が重要です。県が率先して国内外の市場に梅・梅加工品のよさをPRし、販路を拡大させていきます。

**みなべ・田辺の梅システム**：養分に乏しい傾斜地で、備長炭の原料となるウバメガシ等の森林を残しつつ、そこにすむ二ホンミツバチの助けをかりながら、高品質な梅を持続的に生産してきたこの地域独特の農業システム。

**世界農業遺産**：国連食糧農業機関が開始した仕組みで、次世代に受け継がれるべき重要な伝統的農業や生物多様性、伝統知識、農村文化、農業景観などを全体として認定し、その保全と持続的な活用を図るもの。



## 南紀支援学校の建てかえ

**問** 築48年になる南紀支援学校は、肢体不自由な児童生徒にかなり負担がかかり、問題のある構造となっている。今後の建てかえに対する考え、めどはどうか。

**答** 南紀支援学校は、これまで施設の耐震化や修繕等を行ってきましたが、老朽化が進んでいることは認識しています。田辺・西牟婁地方の特別支援教育のあり方、南紀支援学校の障害特性に対応した施設整備が必要であると考え、庁内ワーキンググループ会議を設置し、平成27年度内に一定の方向性を取りまとめる予定にしています。

## 中学校夜間学級の設置

**問** 公立中学校の夜間学級が再注目され、文部科学省も「1県に1夜間学級が望ましい」としているが、県はどう考えているのか。

**答** どこに設置するか、対象や費用負担、教員配置をどうするかなど、検討すべき課題が数多くありますので、中学校夜間学級の設置を検討してきた和歌山市と研究を進めていきます。全県的には、改めて学びたいという子供から高齢者の方々の学びの場として、通信教育を初め様々な方法を検討していくことも大切と考えています。

# 議会活動の紹介

# Topics

## 県議会からのお知らせ Information

### TV テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

#### テレビ テレビ和歌山(WTV)

##### 県議会だより

開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送  
(12月定例会の放送予定12/2、9~11、14、18)

##### 県議会手話だより

閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送

#### ラジオ 和歌山放送(WBS)

##### 県議会ダイジェスト

開会、質問、閉会日の21時20分から15~30分間放送  
(12月定例会の放送予定12/2、9~11、14、18)

### 県議会ホームページ

#### 和歌山県議会

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

### 傍聴してみませんか

本会議は、申込みなしで傍聴できます。  
委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

#### 平成27年12月定例会 会期日程(予定)

本会議	12月2日(水)
本会議(質問)	12月9日(水)~11日(金)・14日(月)
常任委員会	12月15日(火)・16日(水)
本会議	12月17日(木)・18日(金)

### 「点字版・テープ版」の案内

本紙の点字版・テープ版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

### 虚礼廃止にご理解・ご協力を!

- 県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。
- 冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事等における寄附行為の禁止(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
  - あいさつ状の禁止
  - 議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
  - 中元や歳暮の贈答はしない
  - お祝い・おくやみ電報等は出さない(親戚・友人は除く)

発行日/平成27年10月25日

編集・発行/和歌山県議会 ☎073-441-3560

〒640-8585(県庁専用郵便番号) 和歌山市小松原通1-1

## 第9回紀伊半島三県議会交流会議

7月15日、和歌山・三重・奈良の県議会議員が共通課題等について意見交換を行う第9回紀伊半島三県議会交流会議が三重県尾鷲市で開催され、本県からは議長を初め9名の議員が参加しました。

「観光振興」・「林業・木材産業振興」・「大規模地震対策の推進」の3議題について、各県から議題の提案趣旨説明や取組事例等の紹介が行われた後、議員25名による活発な議論が行われました。

会議では、観光客のさらなる誘客促進に向け歴史・文化・自然などを3県が連携して情報発信していくことや、大規模地震に備えた3県の相互応援体制をさらに強化していくことなどを確認するとともに、林業・木材産業の活性化のため地域材の需要拡大に向けた支援を国に要望していくことを合意しました。

また、本県参加議員からは、3県をつなぐ紀の川サイクリングロードの整備による観光振興、木材需給情報の共有や需給調整による木材の利活用促進、高性能林業機械の普及に向けた連携強化、災害時におけるオスプレイ活用について意見が出されました。

来年度の会議は奈良県で開催される予定です。



## 関西広域連合議会 第10回産業環境常任委員会開催

関西広域連合議会第10回産業環境常任委員会が、7月18日に本県議会の予算・決算特別委員会室で開催されました。

本県議会からは、産業環境常任委員会所属議員である、岸本健議員と長坂隆司議員の2名が出席し、山下直也議員(広域連合議長)が傍聴しました。

本委員会においては、まず、狭間広域産業振興副担当・広域連合副委員(堺市副市長)出席のもと、広域産業振興の推進について、関西広域産業ビジョン及び同ビジョンに基づく平成27年度の広域産業振興分野における事業計画について説明を受けた後、質疑等が行われました。

また、広域農林水産業振興の推進については、担当委員である仁坂副連合長(和歌山県知事)の挨拶の後、関西広域農林水産物ビジョンのポイントや関西広域連合給食レシピ集に基づく給食試食会の開催、直売所間交流の促進のためのマッチングサイトの開設等、今年度の事業計画等について説明がなされ、関西広域連合域内の農林水産物の地産地消運動の推進による域内消費拡大、国内外への販路拡大等について質問があり、議論を行いました。



## 近畿2府8県議会議長会議

8月3日、和歌山・京都・大阪・兵庫・奈良・滋賀・三重・福井・徳島・鳥取の府県議会議長・副議長が円滑な議会運営と地方行政の推進について情報交換を行う近畿2府8県議会議長会議が奈良市で開催され、本県からは前芝雅嗣議長と藤山将材副議長が出席しました。

会議では計16件の議案が審議され、特に各府県からの提出が多かった「国土強靱化に向けた社会資本整備」をテーマとして意見交換が行われました。本県からは「国土の強靱化に資する社会資本整備の推進」を議案として提出し、国土強靱化に必要な予算の確保や高速道路のミッシングリンク解消、津波浸水対策としての河川・海岸・港湾施設等の機能向上に対する支援等を国に対し強く求めていく必要性を訴えました。

意見交換終了後、すべての議案が異議なく了承されるとともに、それらの議案について開催県である奈良県が代表して国に対し要望活動を行うことが決定されました。また、来年度の開催地は兵庫県に決定し、会計監事に本県が選出されました。

